

# かすかべのういんナビ



埼玉県マスコット  
「コバトン」、「さいたまっち」

お正月には、縁起物の  
「くわい」は  
いかがでしょうか！







## くわいの生産支援

越谷市では、7人の生産者がくわいを栽培しており、正月のおせち料理の縁起物として、関東や関西の市場に出荷されています。

また市の特産物として市内の直売所で販売されるほか、保育所や小・中学校の給食に伝統的な特産野菜として利用されたり、和菓子屋で饅頭などに加工され、期間限定で販売されています。

くわいの栽培は、6月の植付けから始まり、暑い夏の除草や葉かき、さらには厳寒期の水田での収穫作業など、苦勞が絶えない農作物です。

当センターでは定期的に生育調査を行い、生育状況や病害虫の発生などについて情報を提供して、安定的な生産に向けた技術支援活動を行っています。

**【お問合せ】 技術普及担当 ☎048-737-6311**



▲生育調査の様子



## 露地野菜の生産振興について ～苗のせて 希望ものせる 定植機～

近年、水田への高収益作物の導入が進む中で、白岡市や杉戸町では、ねぎの周年栽培が広がっています。

特に杉戸町の農業法人では、輪作や土壌改良により約8ヘクタールの水田で、ねぎの栽培を行っており、さらに今年からは、全自動ねぎ移植機を導入し、定植作業の大幅な効率化を進めています。

この機械の利用には、機械移植に適した苗が必要であり、特別な育苗管理が必要となりますが、移植と同時に粒剤の散布も行え、大幅な省力化が可能となります。

露地野菜の分野では、スマート農業の機械開発も進んでおり、今後も作付面積の拡大が期待されています。

**【お問合せ】 技術普及担当 ☎048-737-6311**



▲全自動ねぎ移植機



## 久喜市菖蒲町の原昌男氏が旭日単光章を受章

令和4年4月に、施設きゅうり栽培を行う原昌男氏が、長年にわたる優れた実績が高く評価され、旭日単光章を受章されました。

栽培は18歳の時に始め、長年の経験と研鑽から卓越した栽培技術を有し、現在では、10月～翌年6月まで収穫する年1作の長期越冬栽培と、統合環境制御技術を組合わせた高度な栽培を行っています。

さらに、これまで多くの講演や視察の要請にも幅広く対応し、御自身が会得したノウハウを提供する事で、県内や全国の施設きゅうり栽培の発展にも大きく貢献されました。

現在も、栽培技術の高度化や後継者の育成に取り組まれ、管内の農業生産に寄与していただいております。

※旭日単光章：功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた方に授与されるものです。(内閣府ホームページから引用)

**【お問合せ】 技術普及担当 ☎048-737-6311**



▲旭日単光章を受章した原昌男氏





## いちごの輸出・国内出荷・体験摘み取りに向けて ～越谷市の取組～

越谷市では、株式会社いちごみらい舎を事業主体として、国庫補助事業を活用したいちごの生産施設と農産物処理加工施設の整備を行いました。

### ■整備内容

いちごの生産施設は、統合環境制御装置を備えた高設栽培システムで、通常栽培棟7棟9,828㎡、周年栽培棟1棟820㎡を整備し、年間を通じたいちご栽培に取り組んでいます。

農産物処理加工施設には、出荷するいちごのパッキング（選別・選果・包装）スペースや、いちごを冷蔵・冷凍するための設備（抗酸化特殊加工冷凍システム等）を導入しています。

### ■今後の取組

施設は令和4年5月に竣工し、今年が一作目の栽培となります。今後はあまりんを中心としたいちごの輸出向け加工処理（専用パック詰め、冷凍加工等）に取り組み、新たな海外販路を獲得するとともに、地域に根差した強い都市型農業基盤の確立を目指します。

【お問合せ】地域支援担当 ☎048-737-2134



## 埼玉ブランド農産物のプロモーションを実施しました

### ■埼玉ブランド農産物プロモーションを実施しました

6月6日の雹害により、梨、キウイフルーツ等の管内のブランド農産物は大きな被害を受けました。

被害を受けたブランド農産物を支援するため、当センターでは埼玉ブランド農産物プロモーションとして、6次化商品を紹介するリーフレットを作成しました。

リーフレットには梨ゼリーや梨ジュース、キウイフルーツ、ジャム等、農家の工夫が詰まった加工品を多数掲載しました。

また、加工品プレゼント企画も実施し多くの反響を頂きました。引き続き当センターでは管内のブランド農産物の販売支援を実施していきます。

### ■春日部農林振興センターHP内でも紹介中

上記で作成したリーフレットの内容は春日部農林振興センターHP内でも紹介しています。スマートフォン等で手軽に見られますのでぜひ御覧ください。



▲加工品紹介リーフレット



春日部農林振興センター加工品紹介ページ  
[https://www.pref.saitama.lg.jp/b0908/brand\\_kakou.html](https://www.pref.saitama.lg.jp/b0908/brand_kakou.html)

【お問合せ】地域支援担当 ☎048-737-2134





## ～農業農村整備の豆知識～ 農業用水の機能と水循環についてご紹介!

### ■農業用水の機能

農業用水には、農作物を育てるほかにも様々な機能があります。例えば「水源かん養」は、水田へ導かれた農業用水や雨水が地下へ浸透し、地下水になる機能です。さらに、水田や農業用水路といった水辺空間は、人々が集う「親水空間の形成」、「生態系の保全」の場としての機能を発揮します。

### ■農業用水による広域的な水の循環

河川に設けられた堰などから取水された水は、大きい水路から小さい水路へ枝分かれし、水田で利用され、排水路を経て河川へと戻り、また下流で取水され利用されています。このように、限りある水資源である農業用水は、河川を介して広域的につながり、反復利用されています。

### ■管内の農業用水について

春日部農林振興センター管内を含む埼玉県東部地域は、平坦地であり水源山地がないことから、反復利用による水循環が盛んに行われています。特に中川水系の農業用水は、約6割が反復利用により賄われています。私たちの身近な水路の水は、下流地域の大切な水資源となっています。

【お問合せ】 整備支援・管理担当 ☎048-737-2112



▲堰で河川の水位を上げて取水



▲用水路で農地へ水を運ぶ



## ～ 多面的機能支払交付金 ～ 江戸川通り活動組織(吉川市)が優良事例表彰を受賞!!

### ■農業・農村の多面的機能とは

農業・農村は、食料生産の場のみならず、水源かん養、生態系の保全など、私たちの生活に様々なめぐみを与えています。これを農業・農村の有する多面的機能と呼んでいます。

### ■多面的機能支払交付金とは

多面的機能を維持するためには、農業者のみならず、農村地域の皆様による協力が必要不可欠です。

地域住民による水路の草刈りや泥上げなどの地域環境保全活動に対し、国・県・市町が補助を行う制度が多面的機能支払交付金です。埼玉地域では、9市町において、約2,300ヘクタールの農地が地域の皆様の共同活動により守られています。

### ■令和4年度優良事例表彰

埼玉県多面的機能推進会議では、特に優れた活動を行っている団体に対する「優良事例表彰」を行っています。

令和4年度は、水路沿いへの植栽活動や構成員の皆様による水路整備の直営施工が評価されて、江戸川通り活動組織(吉川市)が受賞し、同会議埼玉地域部会長から表彰状と記念品(のぼり旗)を授与しました。

【お問合せ】 整備支援・管理担当 ☎048-737-2112



▲受賞団体の活動状況(植栽活動)



▲表彰式の様子